

悩める会社員にオススメ!!

「仕事ができる人」になるコツを学べる一冊

職人気質のベテランが幅をきかせる「設備設計」という業界で、未経験の新卒者をイチから育てて業績を伸ばしている設計会社がある。その社長である著者が「仕事ができる人」になるコツを指南しているのが本書だ。著者は「できる人」になるために必要なのは「技術」でも「才能」でもなく、「プロ意識」だと説く。「周りを巻き込んで仕事する」「相手のさらにうえの視点に立つ」「失敗を認めたうえで解決策を盛り込む」という高い意識をもって仕事に取り組めば、会社の上司や取引先の信頼を勝ち取ることがで

き、仕事のプロに近づけると断言する。一方、「プロ意識をもったからといって一朝一夕に『できる人』になれるほど甘くない」といましめる。そして「若いうちは一定年数、貪欲に仕事に打ちこむ」ことを求める。その努力を重ねたうえで仕事のプロとしての地位を確立できれば、残りの長い会社人生を楽しく過ごすことができると呼びかける。「仕事がうまくいかない」「一生懸命働いているが、周りから評価されない」、そんな悩みを抱える会社員には一読をオススメしたい。



『僕らは、なにを武器に働けばいいのだろうか?』

村井一雄 著

(アスコム、1540円)